

LC-105 取付方法概要

※注意事項

- 取付作業中は、ドアをドアストッパーなどで固定して、ドアが開まらないようにしてください。
- ネジの締め過ぎは、動作不良や故障の原因になります。電動ドライバーは、使用しないでください。
- 取り外した既存の錠前などは、原状復帰や緊急対応の場合に必要となります。大切に保管してください。
- ※施工方法をよくご理解、ご確認の上、施工を実施してください。
- 不適切な施工により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に対し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承願います。

1. 事前準備について

1-1 既存の錠前から交換する場合は、既存の錠前の品番・バックセット・扉厚を確認してください。

●取付対応一覧 (B/S):バックセット

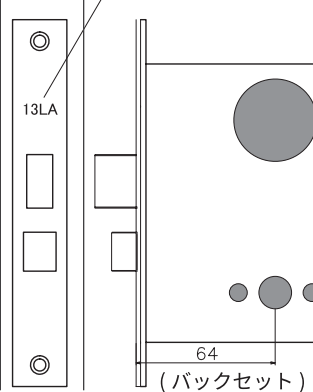
MIWA	LA	13LA	MA
GOAL	LG		
ユーシンショウワ	MS	MM	
シブタニ	LC		

(B/S)
64mm

取付対応製品以外の錠前について

[既存のストライク] + [専用マグネット] による取付方法で対応製品以外にも取付できる場合があります (MIWA 社 LAF など) (要お問合せ)

扉厚 (扉の厚さ)
(品番・刻印)



※取付対応製品以外にも取付可能な場合があります

●扉厚 (扉の厚さ) を確認して、対応の製品を選定してください

※ 扉厚を指定してください	
標準仕様品	扉厚 30-43mm 対応
扉厚指定品①	扉厚 44-64mm 対応
扉厚指定品②	扉厚 65-70mm 対応

- 標準仕様は、扉厚 30-43mm / BS 64mm 対応 上記以外の扉は、オプション品や加工が必要となります
- 扉厚 44-70mm は、左表の扉厚指定品にて対応可能です (別途オプション費用が必要になります)
- 上記以外の錠前・バックセット・扉厚の場合は、お問い合わせください

1-2 梱包明細を確認する (※プラスドライバー・マイナスドライバーは付属していません)

1. 室外機ボディ
2. 室内機ボディ
3. レバーハンドル
4. ストライク + トロヨケ
5. 専用錠ケース
6. 固定プレート
7. MIFARE (マイフェア) タグ 1個 + 管理者カード 1枚
8. 非常解錠キー 5本
9. 取付用ネジ (A:2本 B:4本 C:4本 D:2本)
10. レバーハンドル固定用取付ネジ + 六角レンチ + レバーハンドル固定用ブッシュ 2個
11. 電池4本 (アルカリ 1.5V 単3形乾電池)
12. 専用マグネット
13. 取扱説明書/施工ガイド
14. 保証書

取付時トラブルシューティング

※下記事項で問題解決不可能な場合は、設置店へお問い合わせください。

Q1 非常解錠キーの回りがきつい、または、空回りする

■サムターンやテールピースにコードが絡んでいる可能性があります。
→室内機と室外機を取り外します。取り外した状態でキーが回るのであればコードの絡みや取付位置のズレ等が考えられます。

■空回りする時は、テールピースが短い (扉厚に対応していない) 可能性があります。

→短い場合は、オプションの厚扉用のシリンダーと交換して下さい。

Q2 レバーハンドルの操作が重い

■レバーハンドルの角芯が通る位置が、穴とズレている可能性があります。

→固定プレートや室内機を左右上下に動かし、穴位置等を調整します。

Q3 室外機が反応しない。表示されない

■各コネクタがきちんと接続されていない可能性があります。

■電池の可能性があります。

→電池の極性の確認、電池 (単三 1.5V アルカリ乾電池4本) を新しいものと交換してください。

Q4 デッドボルトが引っかかる。動きが悪い

■サムターンやテールピースにコードが絡まっている可能性があります。

■本体とストライクの取付位置が正しくない可能性があります。

Q5 オートロックができない

■設定が正しくない可能性があります。

→オートロックモード設定を再度行ってください。

■電池消耗の可能性があります。

→電池 (単三 1.5V アルカリ乾電池4本) を新しいものと交換してください。

※電池消耗の際は、音が鳴っても動作しません。

■本体とストライクの取付位置が正しくない可能性があります。

→本体とストライクのマグネット位置を確認してください。

→同梱のマグネットを使用する取付方法を確認してください。

現在使用している既存のストライクとトロヨケを利用します。

マグネットを既存のトロヨケに取付マグネット位置を合わせてください。

2. 既存の錠前を取り外す ※取り外し方法の詳細については、各メーカーの取付マニュアルなどをご確認ください。

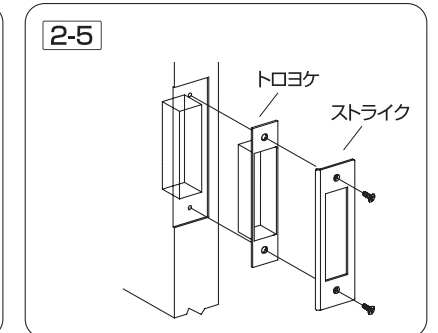
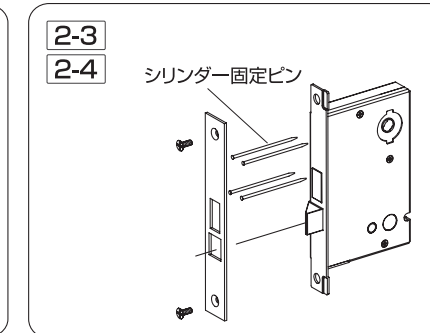
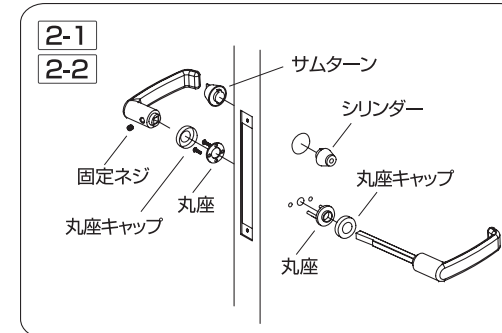
2-1 レバーハンドル固定ネジを緩め、室内側のレバーハンドルを引き抜きます。室外側より角芯一体型のレバーハンドルを引き抜きます。

2-2 小さなマイナスドライバーなどで丸座のキャップを取り外します (扉に傷がつかないように注意してください)。丸座取付ネジを緩め、室内側、室外側の丸座を取り外します。

2-3 フロントプレートのネジを取り外します。シリンダー固定ピン上下4本をマイナスドライバーなどで抜き取り、シリンダーとサムターンを取り外します (シリンダーが落ちないように注意してください)。
注意: フロントプレートを取り外している状態では、扉を閉めないでください。ラッチが連動 (引き込めなくなる) せず、扉を開けられなくなる場合があります。

2-4 錠ケースを取り外します (錠ケースが扉の中に落ちないように注意してください)。

2-5 受け側のストライクプレートのネジを外し、ストライクとトロヨケを取り外します。



3. LC-105 専用錠ケースを取り付けする

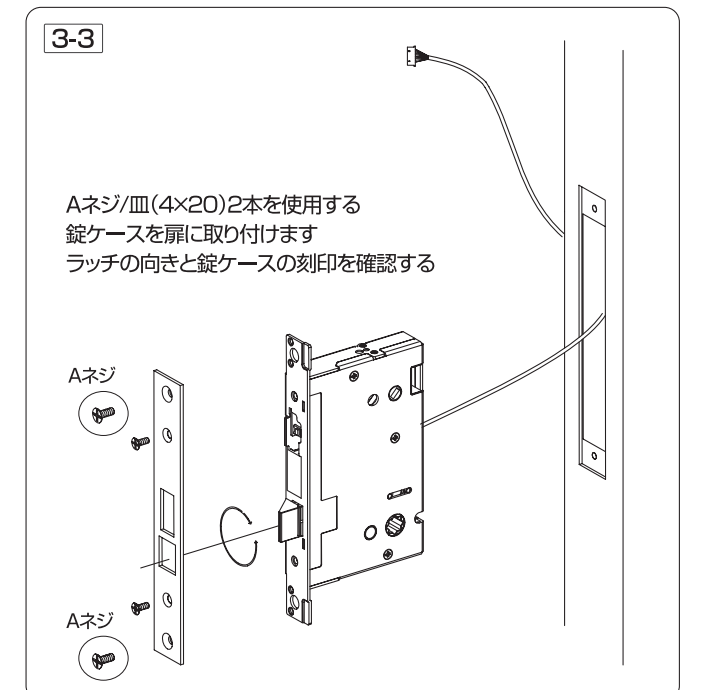
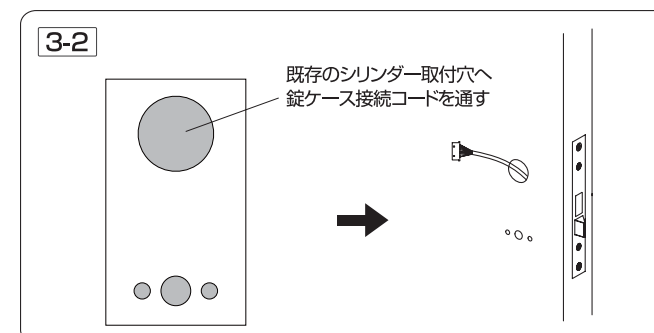
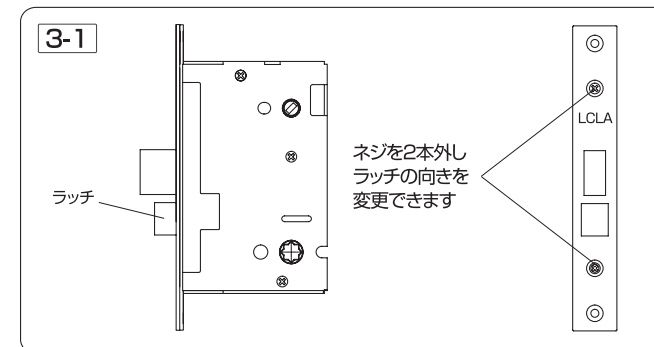
注意: LC-105取付作業中は、錠ケースのデッドボルトを引っ込み、扉を開けた状態で取付作業をおこなってください。

注意: フロントプレートを取り外している状態では、扉を閉めないでください。ラッチが連動 (引き込めなくなる) せず、扉を開けられなくなる場合があります。

3-1 錠ケースを取り付ける前にラッチの向きを確認してください。反対勝手の場合は、ラッチの向きを反転させてください。扉が閉まる方向へラッチの斜めになっている面 (角度面) を調整してください。フロントプレートのネジを2本外し、ラッチの向きを変更できます。

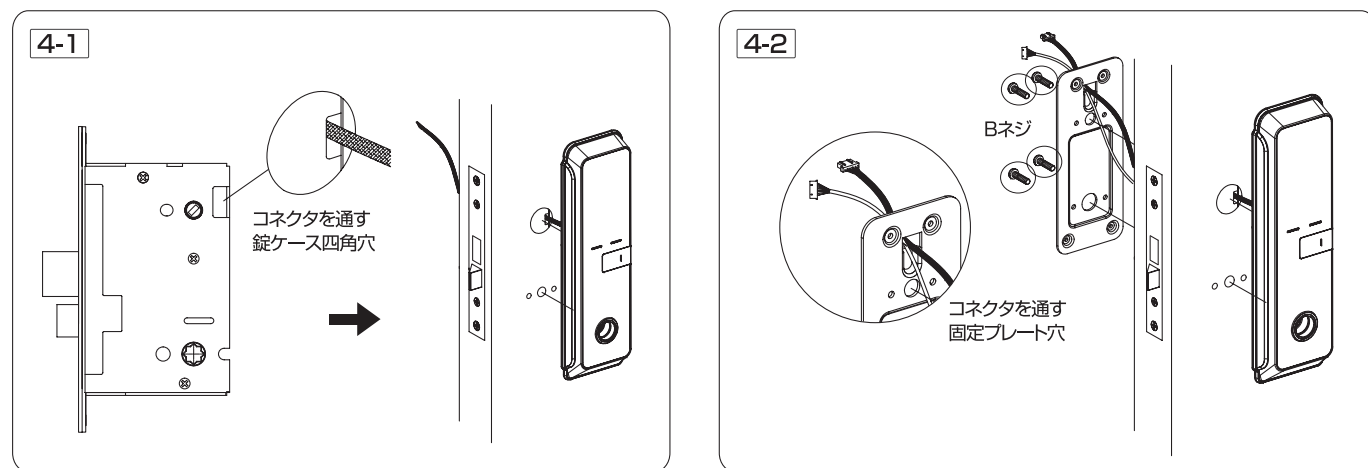
3-2 錠ケースに接続してあるコードを既存のシリンダー穴より室内側に通してください。

3-3 同梱のAネジ/皿 (4×20) 2本を使用して、錠ケースを扉に取り付けます。錠ケースの向き (正面刻印LCLAの向きで確認) を間違わないように注意してください。



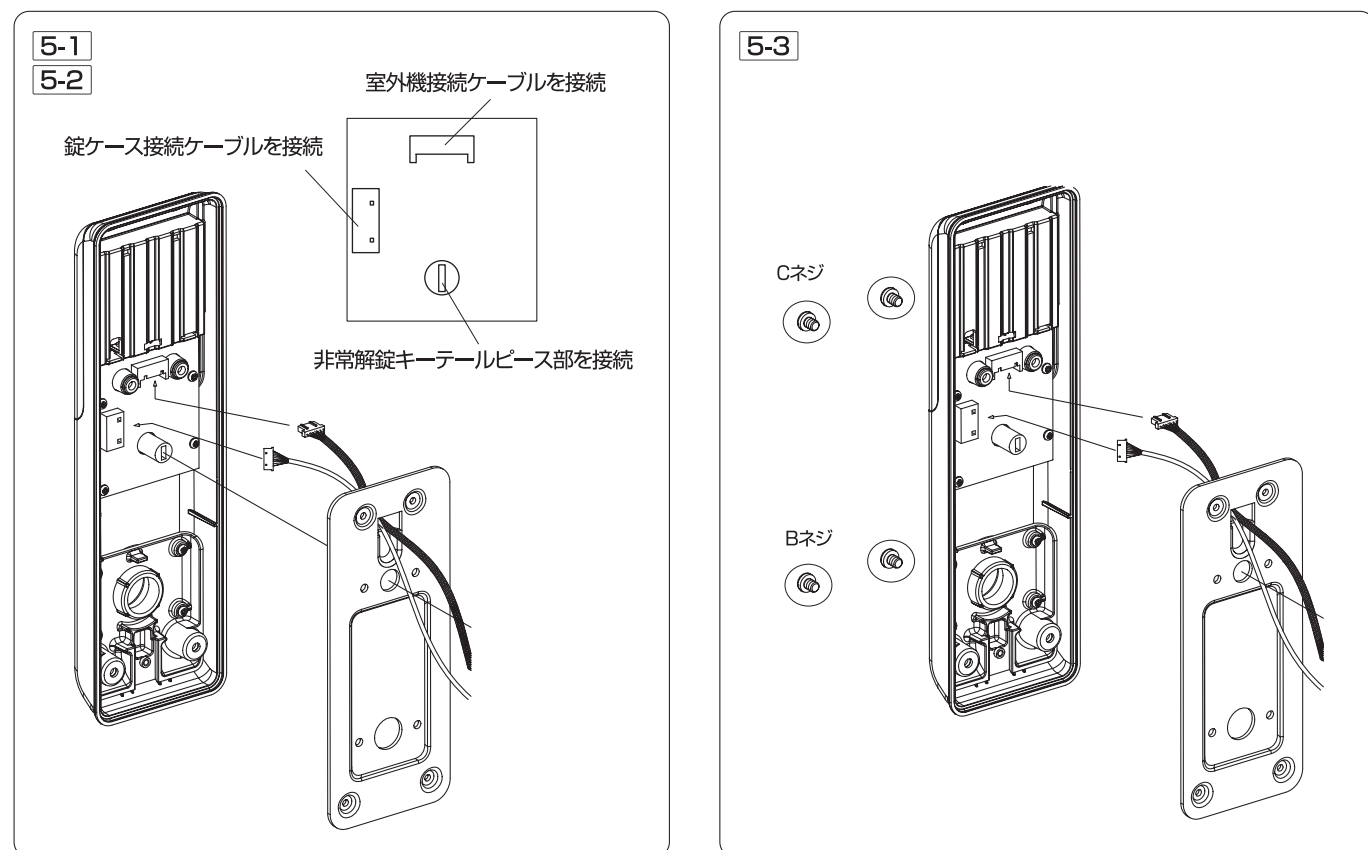
4. LC-105 室外機を取り付けする

- 4-1** 錠ケースの四角穴より室外機の接続コードを室内側に通します。
室外機を既存の加工穴から錠ケースの穴へ押し込むように取り付けます。
(この時、室外機が落下する恐れがあるので注意して下さい)
- 4-2** 室外機の接続コードと錠ケースの接続コードは、固定プレートの四角穴より室内側に通してください。
室内側より同梱のBネジ/なべ(4×22)4本を使用して、固定プレートと室外機を挟み込むように取り付けします。
注意:各ケーブルがテールピースに絡んでいないか確認して下さい。
注意:固定ネジを締めすぎると扉がひずむ可能性がありますので適度に締めてください。



5. LC-105 室内機を取り付けする

- 5-1** 室外機の接続コードと錠ケースの接続コードを室内機に差し込みます。
- 5-2** 室内機電池カバーを外し、室外機側テールピースと室内機側サムターンを合わせるように、室内機を固定プレートと重ねます。
注意:各コードがテールピースに絡んでいないか確認して下さい。
- 5-3** 同梱のCネジ/なべ(4×8)4本を使用して、室内機を固定プレートに取り付けます。

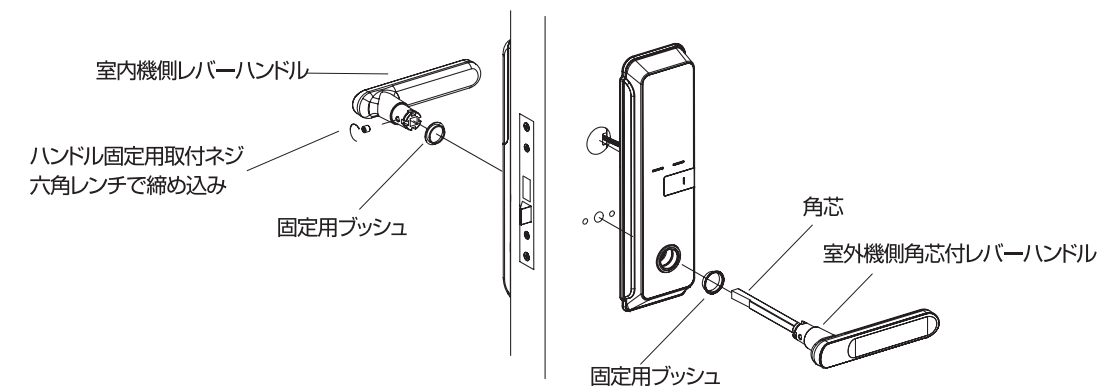


6. LC-105 専用レバーハンドルを取り付けする

- 6-1** レバーハンドル固定用ブッシュ(白色)をレバーハンドルに取り付けます。
- 6-2** 室外機側より取付柱(角芯)付レバーハンドルを差し込みます。
室内機側レバーハンドルを角芯に差し込み、ハンドル固定用の取付ネジを六角レンチで締め込みます。
扉を開けた状態で、デッドボルト・ラッチとハンドルが滑らかに操作できるか確認してください。

レバーハンドルの戻りが悪い場合の解決方法

レバーハンドルの取付位置(室内機側と室外機側の取付位置関係)がずれている可能性があります。
取付位置がずれていると、レバーハンドルの角芯が歪んだ状態で取付されるため、戻りが悪い原因になります。
もう一度、ハンドルを取り外し、固定プレートや室内機との位置関係を調整して下さい。



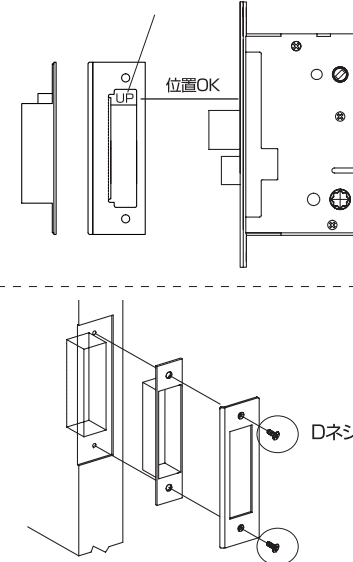
7. LC-105 ストライクを取り付けする → 取付完了 / 必ず扉を開けた状態で動作確認をする

- 7-1** トロヨケをストライクプレートに取り付けます。トロヨケは、刻印(UP)を上にしてください。
ストライクプレートの向きは、扉の勝手に応じて異なります。
ストライクプレートの向きを確認して、同梱のDネジ/皿(4×20)2本を使用して、ストライクプレートとトロヨケを固定します。
- 7-2** 錠ケースフロントの刻印(LCLA)下付近に「マグネットセンサー」があります。
「トロヨケのマグネット(刻印(UP))」と位置を合わせてください(許容範囲内であれば多少の位置ずれは問題ありません)。
通常の切り欠き加工であれば、錠ケースとトロヨケのマグネット位置は、加工不要で合致します。

マグネット位置が合わない場合の解決方法

「LC-105専用ストライク+専用トロヨケ」ではなく、「現在使用している既存のストライクとトロヨケ」を利用します。
同梱されているマグネットを既存のトロヨケに取り付け(磁力)、マグネット位置を合わせてください。

- 7-1** UPの刻印を上にしてくださいマグネットが内蔵しています
- 7-2** 錠ケースのマグネット位置と合わせてください



マグネット位置が合わない場合の解決方法

- 同梱されている専用マグネットを使用します
- 専用マグネットを装着(磁石でくっきます)
専用マグネットは、既存のトロヨケに応じて取付する方向を決めてください。
- 横向・トロヨケの幅が広く、奥行きがない場合
- 縦向・トロヨケの幅が狭く、奥行きがある場合